

覚悟を胸にJリーグへ——これまでの道のり



3 鹿島アントラーズつくばジュニアユース時代。体格は大きくなかったですが、キックの精度は抜群だったそうです



1 小学3年生までエスペランサ総和FCに在籍。ポジションはフォワードでした



2 小学4年生で鹿島アントラーズつくばジュニアに。学校が終わると片道1時間かけて練習に通いました



5 左足から繰り出す精度の高いパスや強烈なシュートが魅力。世代別日本代表にも選出され、世界とも対等に渡り合いました



4 高校ではダブルキャプテンの一人としてチームを牽引。サイドバックながらゴールを決めるなど、多彩な攻撃参加でチャンスを作り出しました



6 ジュビロ磐田に加入。記者会見で「チームに欠かせない存在になれるようにアピールしていきたい」と力強く語りました

増田選手からのメッセージ



古河市で育ち、たくさんの人に支えられながらサッカーに打ち込んできました。高校時代に全国大会を経験し、現在はジュビロ磐田でプロとしてプレーしています。感謝の気持ちを胸に、これからも挑戦を続け、古河市の誇りとなれるような選手を目指しますので、応援よろしく願いいたします！

**キックの精度が自分の魅力。
アシストだけでなく、
ゴールを決めてチームに貢献したい**

Profile

2008年1月13日生まれ。
八俣小学校→三和中学校→流通経済
大学付属柏高等学校→ジュビロ磐田



©JUBILO IWATA

プロサッカー選手 Masuda Sora 増田 大空(18歳)

小・中学校時代は鹿島アントラーズの下部組織に所属し、高校はサッカー強豪校として全国に名をはせる千葉県流通経済大学付属柏高等学校に進学。常に高いレベルの中でプレーしてきた増田選手ですが、その道のりは平たんではありませんでした。ユースの選考会落選や腰のけがなど、挫折を味わうこともしばしば。その都度自分のできることを冷静に分析・実践し困難を乗り越えてきました。3年生でキャプテンに任命され、2年連続で全国高等学校サッカー選手権大会ベスト4に進出。準決勝で惜しくも敗退となりますが、精度の高いフリーキックを武器に存在感を示しました。また、世代別の日本代表にも選出され、海外の選手とも対戦。自分のプレーができれば世界でも通用すると、自信を持って話します。

在学中にJリーグ、ジュビロ磐田への加入が内定。決め手となったのは「練習会に参加したチームの中でジュビロだけが和やかな雰囲気ではなく、緊張感が漂っていたから」。常に将来を見据え、より厳しい環境に身を置こうとする増田選手だからこそその発言です。

世界も視野に、今後のさらなる活躍が期待される増田選手。同じ古河市出身の船橋選手と共に、日本代表として同じピッチに立つ姿を見られる日が楽しみですね。